

**授業概要**

本講義は、企業を対象とした会計、すなわち企業会計の基礎原理を学ぶものである。本講義では、企業会計の基本的知識を体系的に説明するとともに、決算書（財務諸表）の構成要素の内容と基本的な会計処理が理解できるように心懸ける。

**授業計画**

第1回	会計学の対象と学習範囲
第2回	会計学の種類とその特徴
第3回	株式会社と財務諸表
第4回	会計公準と会計主体
第5回	損益計算書の概要
第6回	営業収益費用の計算
第7回	営業外収益費用の計算
第8回	特別損益と純利益の計算
第9回	費用及び収益の繰延べと見越し
第10回	貸借対照表の概要
第11回	棚卸資産の処理
第12回	有形固定資産の処理
第13回	無形資産と繰延資産の処理
第14回	負債（引当金）の処理
第15回	純資産（資本金と剰余金）の処理
第16回	定期試験

**到達目標**

簿記の基礎的な知識をもとに、財務諸表の作成や読み方の理解ができることを目指す。

**履修上の注意**

複式簿記の原理を理解していることが望ましい。

**予習復習**

授業の理解度を高めるために、講義内容に合わせて簿記検定の既述問題を解かせる。

**評価方法**

- ・ 定期試験の成績により評価する。
- ・ 既定の出席回数を満たさない場合には原則として単位を認めない。

**テキスト**

- ・ 開講時に指示する。
- ・ 必要に応じて、資料を配布する。